



第十三回「しゃぼてんひなまつり」 ～ 春の風物詩! ひな祭りの装束を着たサボテンが登場 ～

2026 年 2 月 16 日

株式会社伊豆シャボテン公園



伊豆シャボテン動物公園では 2026 年 2 月 21 日(土)～4 月 5 日(日)まで、第 5 温室メキシコ館において、サボテンおひなさまの段飾り「しゃぼてんひなまつり」を展示いたします。

今回で 13 回目を迎え、当園の“春の風物詩”となりつつある本イベントでは、内裏雛、三人官女、五人囃子の装束をまとったサボテン三段飾りを展示いたします。内裏雛の男雛には“サボテンの王様”と呼ばれる「金鯢(キンシャチ)」、女雛には黄色い花が咲く「黄雪晃(キセッコウ)」、三人官女のサボテンには頂点に花冠のようなピンクの小花が咲く「玉翁(タマオキナ)」、五人囃子には「豊明丸(ホウメイマル)」「ワラシー」「紫源氏車(ムラサキゲンジグルマ)」「芍薬丸(シャクヤクマル)」「タマウリ鸞鳳玉(タマウリランポーギョク)」を配すなど、それぞれの役に扮したサボテンの個性も楽しめるようになっております。

ひな祭りは、女の子の健やかな成長と幸せを祈る年中行事で、その起源は不明ですが、平安時代には川に形代を流して厄払いをする「流し雛」などの風習が行われていました。江戸時代初期には形代の名残をとどめる「立ち雛」「座り雛」といった男女一對の簡素な人形が作られるようになり、幕末までには官女・隨身などの人形や小道具が添えられ段飾りになるなど、豪華になっていきました。

また展示期間中には当園公式 SNS にて、世にも珍しい「しゃぼてんひなまつり」を祝い、長年植物を担当する名物スタッフによるサボテン解説生配信を行います。ぜひ、この機会に奥深いサボテンの世界にご注目下さい。

お問い合わせ先: 株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4 TEL:0557-51-1115(代) URL:<https://shaboten.co.jp/>